

## 令和 7(2025)年度第 4 回 総合地球環境学研究所運営会議議事概要

日時：令和 8（2026）年 3 月 26 日(木) 13：00～17：05

場所：総合地球環境学研究所講演室/オンライン併用

出席者：(所外委員)【対面】小林(傳)委員（副議長）、竹中委員、長尾委員

【オンライン】浅岡委員、内田委員、亀山委員、小林(い)委員（13：54 入室）、  
佐藤委員、篠田委員

(所内委員)【対面】陀安委員（議長）、浅利委員、谷口委員、松田委員

【オンライン】莊林委員（16：33 退室）

(陪席) 山極所長、佐藤管理部長、吉野総務課長、宮本研究支援課長、北浦財務課長

欠席者：なし

### 開会・所長挨拶

陀安議長が開会を宣言し、続いて所長挨拶があった。

### 定足数及び配付資料の確認

定足数（委員の総数 14 名→定足数 8 名：出席委員は 14 名で、うち地球研参加 7 名、オンライン参加 7 名）及び配付資料の確認が行われた。

### 議事概要の確認

前回（令和 8 年 1 月 9 日開催）の議事概要が承認された。併せて、議事概要を地球研ウェブページで公開することが承認された。

### 報告事項

#### (1) 研究教育職員等の人事異動について

吉野総務課長から、資料 2 に基づき報告があった。

#### (2) 令和 8（2026）年度総合地球環境学研究所運営費交付金等予算額について

北浦財務課長から、資料 3 に基づき報告があった。

#### (3) 令和 8（2026）年度総合地球環境学研究所運営体制について

山極所長から、資料 4-1～2 に基づき報告があった。

#### (4) 令和 8（2026）年度開始分 超学際探索研究の採択について

浅利委員から、資料 5-1～3 に基づき報告があった。その際、以下の意見交換があった。

(主な意見)

- 学生の興味がどの程度か知りたい。学生からは何件くらいの応募あったか？

→ 学生からの応募は 1 件であった。

- 研究期間が終了したあとはどうするか？

→ 現時点で決まっていないが、地球研の学際・超学際研究の裾野の拡大につなげる等、ここで得た知見を活かせる仕組みを検討中。

#### (5) オープンハウス 2025 開催報告について

陀安議長から、資料 6 に基づき報告があった。その際、豊富なコンテンツやマスコットキャラクター等に関する意見交換があった。

(6) 国立科学博物館・総合地球環境学研究所 共同企画展 企画概要について

陀安議長から、資料 7 に基づき報告があった。併せて、国立科学博物館長である篠田委員が担当者として参画していることについて、議長から謝辞が述べられた。

(主な意見)

- 会期が夏休み期間中であり、小中学生の来場も見込まれるがターゲットや展示内容の難易度はどのように考えているのか。  
→幅広い層をターゲットに見据えている。できるだけわかりやすい展示内容を検討予定。
- 主たる来場者の層は、8月是小中学生、9月は大学生や社会人というように変わる可能性があるので、時期に応じて対象年齢層の理解しやすい内容に変えてはどうか。
- 企画展開催を契機として、地球研がこれまでの研究成果を振り返るとともに、所内及びステークホルダーとのコミュニケーション活性化の機会としていただくことを期待したい。

(7) 研究活動等の状況について

谷口委員から、資料 8 に基づき報告があった。

(8) その他：なし

**審議事項**

(1) 令和 8 (2026) 年度開始分 フルリサーチ (FR) への移行について

浅利委員及び谷口委員から、資料 9-1~3 に基づき説明があり、審議の結果、承認された。その際、以下の意見交換があった。

(主な意見)

- 1 件目のプロジェクトにおいて、先住民の方をプロジェクトメンバーに加えることになるが、その場合、先住民かつ研究者の方を加えるのか？  
→これまでも研究者でない先住民の方とも良好な協力関係を築きながら共同研究を進めている。  
先住民の方をメンバー登録するにあたって、研究者であること自体は必要条件とまでは捉えていない。

(2) 令研究教育職員（プロジェクトリーダー）の選考について

竹中委員（人事委員長）及び浅利委員（人事委員会所内世話役）から、資料 10-1~5 に基づき説明があり、挙手による採決の結果、審議事項 (1) に係るプロジェクトリーダーの採用が承認された。

(3) 客員教員の選考について

山極所長から、資料 11-1~3 に基づき説明があり、挙手による採決の結果、原案のとおり承認された。

(4) 令和 8 (2026) 年度人事委員会の設置について

陀安議長から、資料 12-1~2 に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

(5) 所長候補者選考手続きについて

山極所長及び本事項の担当以外の者は一時退席した。

冒頭、資料 13-1 「総合地球環境学研究所長候補者選考手続きに関する申合せ」第 1 条第 4 項の規定に基づき、定足数の確認が行われた。

続いて、陀安議長から、所長候補者選出手続きの確認があった後、三次選考として単記無記名記号式投票を行った。

所外から小林傳司委員、所内から浅利委員が立会人となって開票した結果、3 分の 2 以上の得票をもって所長候補者 1 名が選出された。別室にて陀安議長から当該所長候補者に対し、電話にて就任の意思確認を行い、受諾の回答を得たことから、所長候補者を決定し、人間文化研究機構長に推薦することとなった。

また、山極所長の復席後、改めて所長候補者決定の報告が行われた。

最後に、陀安議長から資料 13-7 所長候補者選考手続きフローに基づき、今後のスケジュールについて説明があった。

(6) その他：なし

#### **意見交換**

今年度末で任期満了となる委員 3 名から、退任の挨拶があった。

#### **閉会**

陀安議長から、資料 14 に基づき、令和 8 年度の年間スケジュールについて説明があった。なお、赤字のイベントについては、運営会議委員も参加可能なイベントであることが紹介され、改めて個別に周知する旨の案内があった。

最後に山極所長から、閉会の挨拶があった。

以上